

オートレース第3次中期基本方針(2026～2030)骨子(案)について

2025年5月22日

INDEX

目次

1. 次期中期基本方針の骨子について(サマリー)
2. 現行中期基本方針における売上・施行者収益の状況
3. 売上状況の推移
4. 現行中期基本方針の振り返り(総括)
5. オートレースの存在意義(Mission)・あるべき姿(Vision)
6. オートレースのあるべき姿の実現に向けた4つの柱(Value)
7. 4つの柱実現(Vision)に向けた攻めと守りの要素
8. 今後のスケジュール

1. 次期中期基本方針の骨子(サマリー)

➡ 現方針への取組の総括と、今後の社会環境の変化を踏まえ、オートレースの存在意義(Mission)あるべき姿(Vision)及び具体的取組(Value)の視点で整理し、次期中期基本方針(骨子)の検討を行った。

第1次中期基本方針(2016～2020)			第2次(現行)中期基本方針(2021～2025)		
売上減少からの転換			売上及び施行者収益の最大化		
背景	歯止めがかからない売上減少 船橋オートレース場廃止		背景	売上構造の変化による収益構造の変化 インターネット投票のシェア急拡大 ライフスタイルの多様化	
方針	ミッドナイト開催の拡大 開催日数・開催時間の拡大 別枠ナイター開催の実施 など		方針	デジタル戦略の推進 開催日数・開催時間の拡大 新たなレース映像の提供 など	
売上等	目標	売上 700億円	売上等	目標	売上 1,200億円 収益 18億円
	結果	売上 944億円 収益 9.5億円		結果	売上 ●●●●億円 収益 ●●億円

現方針への取組(総括)

- 各施行者における施設改修の拡大
- 開催日数と開催種別の拡大(モーニング・オーバーミッドナイトの実施)
- 借上げ開催の実施(浜松市の山陽場借上げ)
- オーバーミッドナイト開催、1日2節開催を実現
- 1日2回出走の実施
- 毎年養成と教育費用分担金の無償化を実施
- 競走車の環境負荷への配慮(代替燃料の検討)
- ASC3のリリース
- 車載カメラのオンデマンド配信
- デジタルマーケティングに基づいたプロモーション

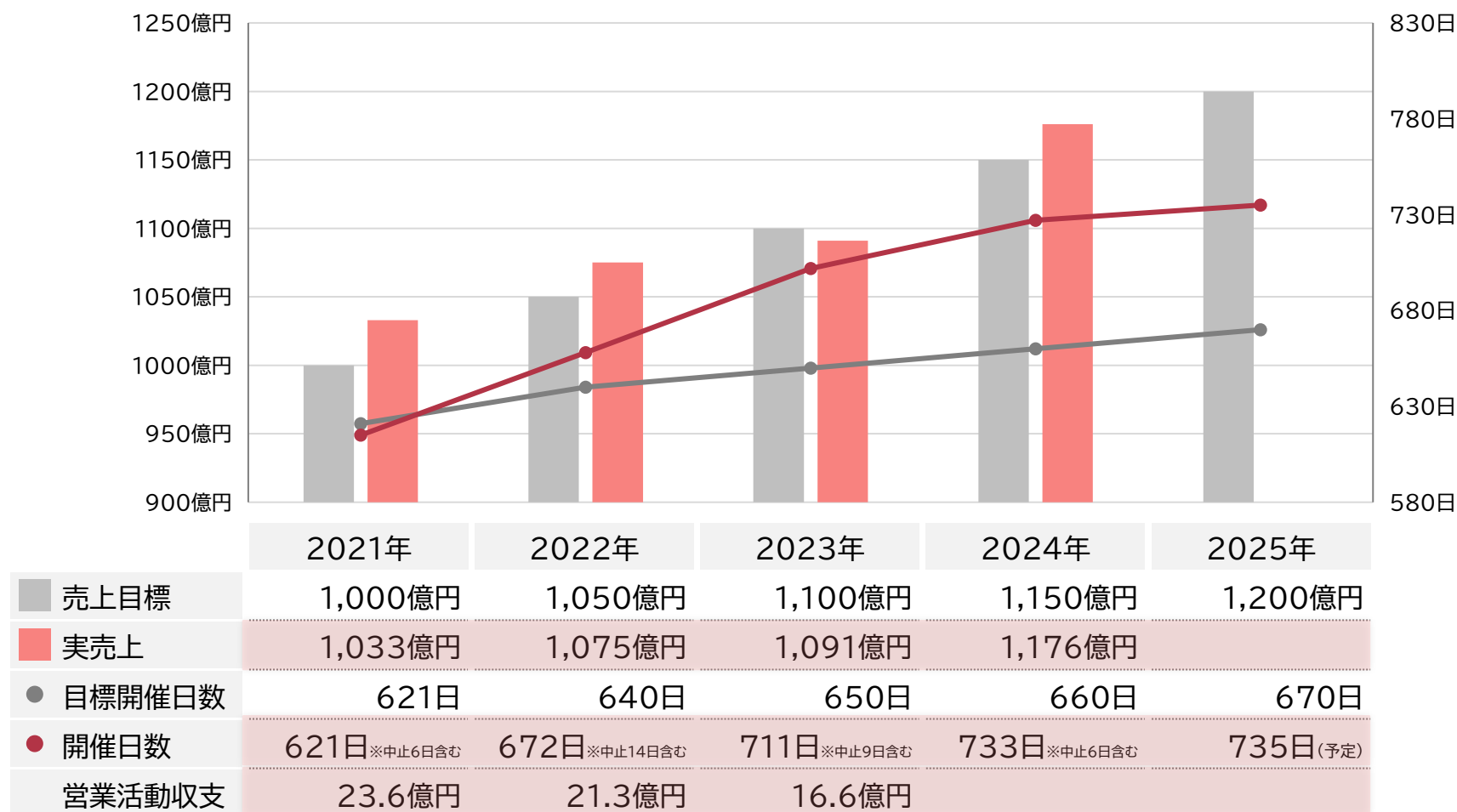
第3次(次期)中期基本方針(2026～2030)		
オートレースの目的 = 社会還元		
補助事業	地方財政	
オートレースの存在意義(Mission) オートレース開催を通じて人々の心を動かす非日常を提供し、その売上・収益を社会に還元することにより、地域の活性化と社会課題の解決に寄与する。		
オートレースのあるべき姿(Vision) お客様からの信頼を得られるレース運営と認知向上施策により市場拡大が図られ、持続可能なオートレースの開催と社会貢献の両立が出来ている状態。		
社会環境の変化		
- 人口減少・人材不足 - 物価高騰・景況感悪化 - デジタル技術の進展 - 訪日外国人の増加 - 企業の社会的責任への意識の高まり - Z世代の価値観など		
あるべき姿の実現に向けた「4つの柱」		
あるべき姿の実現に向けた4つの柱(Value)	地方財政への貢献と社会還元の浸透	売上・施行者収益目標 その他目標
	事業体制の改編	認知度向上と顧客エンゲージメント強化による市場拡大
具体的取組(課題) ※骨子策定後に検討		
オートレース業界の運営体制・オートレース関係者の役割と位置づけ(MVV) ※骨子策定後に検討		

2. 現行中期基本方針における売上・施行者収益の状況

- 開催日数の増加や中期基本方針で定めた各種取組の推進により売上が増加。
2024年度総売上は年度目標を超える約1,176億円となった。

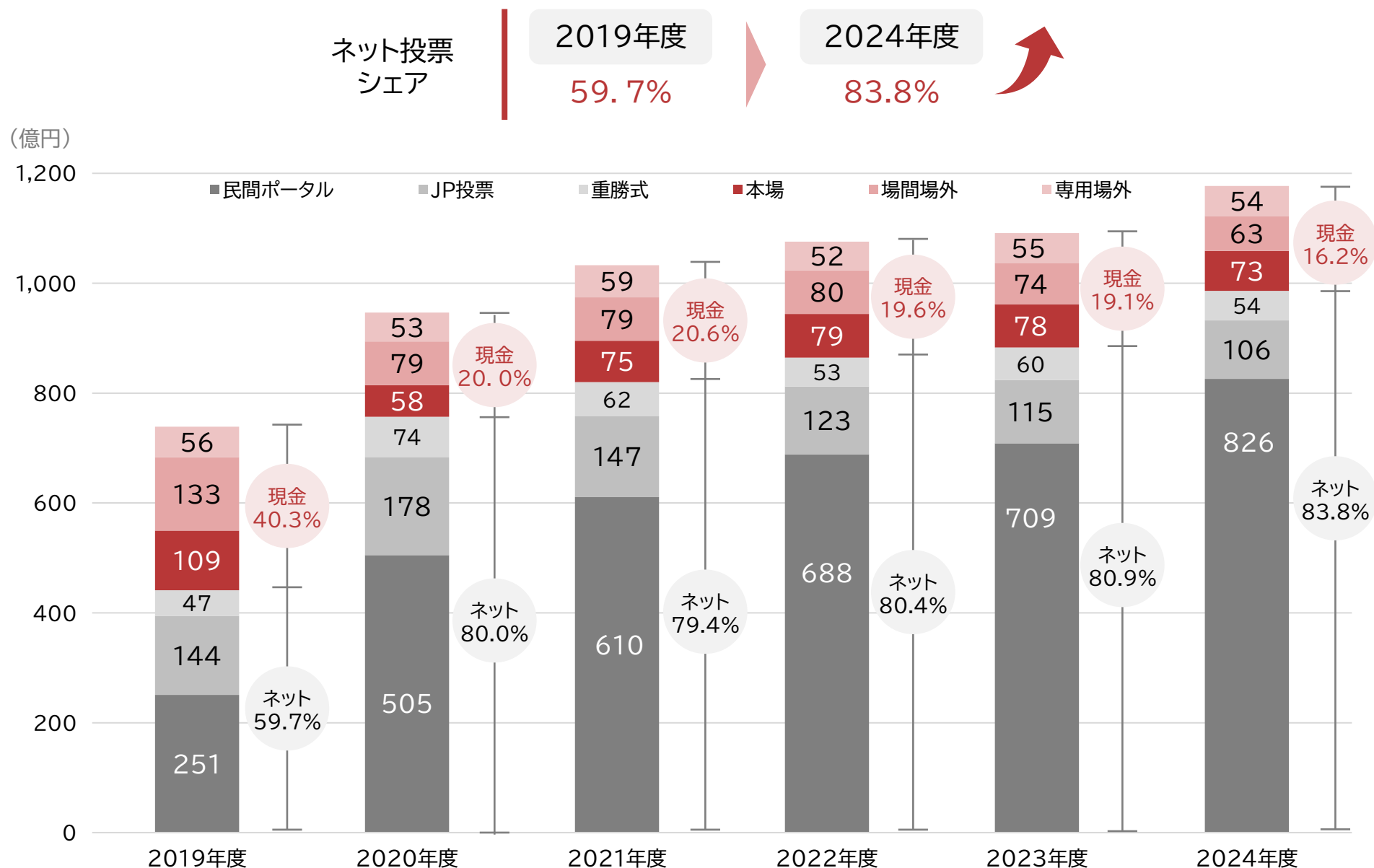
オートレース中期基本方針
目指すべき姿(目標)

売上**1,200億円**、開催予定日数**670日**、施行者営業活動収支**18億円**の達成



3.売上状況の推移(売上構造の変化)

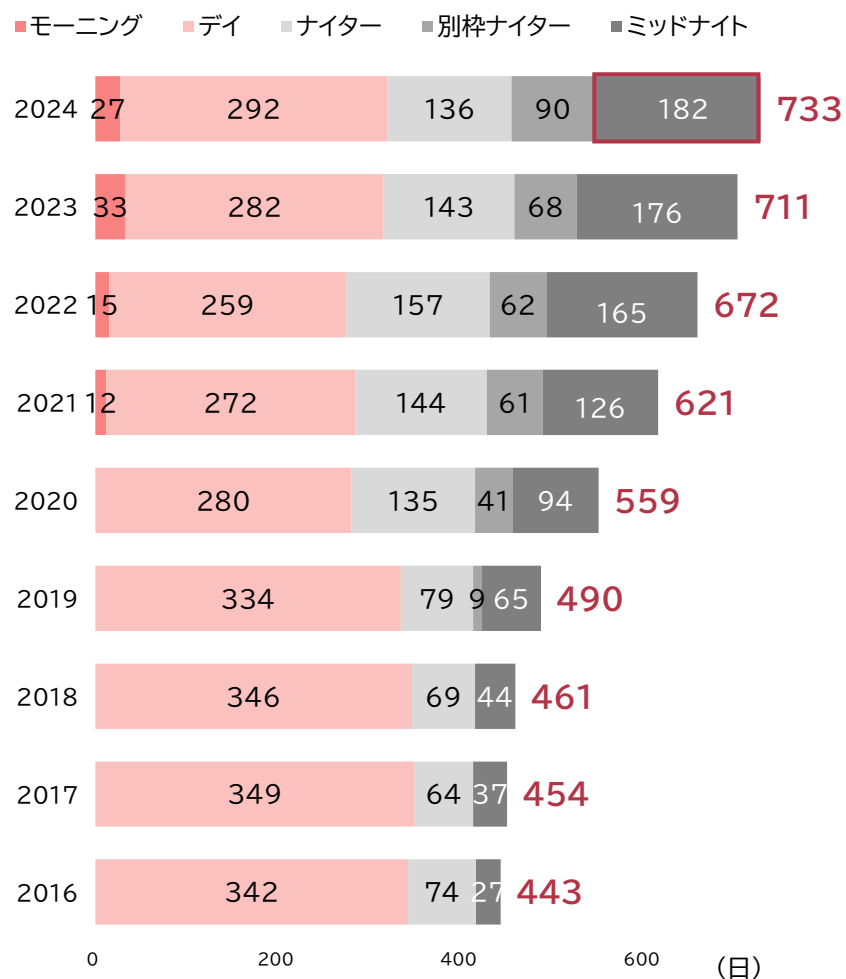
- ☞ インターネットの民間ポータルサイトが牽引する形で、総売上が増加している。
第2次中期基本方針開始前の2019年度との比較で、インターネットの売上シェアが大きく拡大した。



3.売上状況の推移(開催日数・1日平均売上)

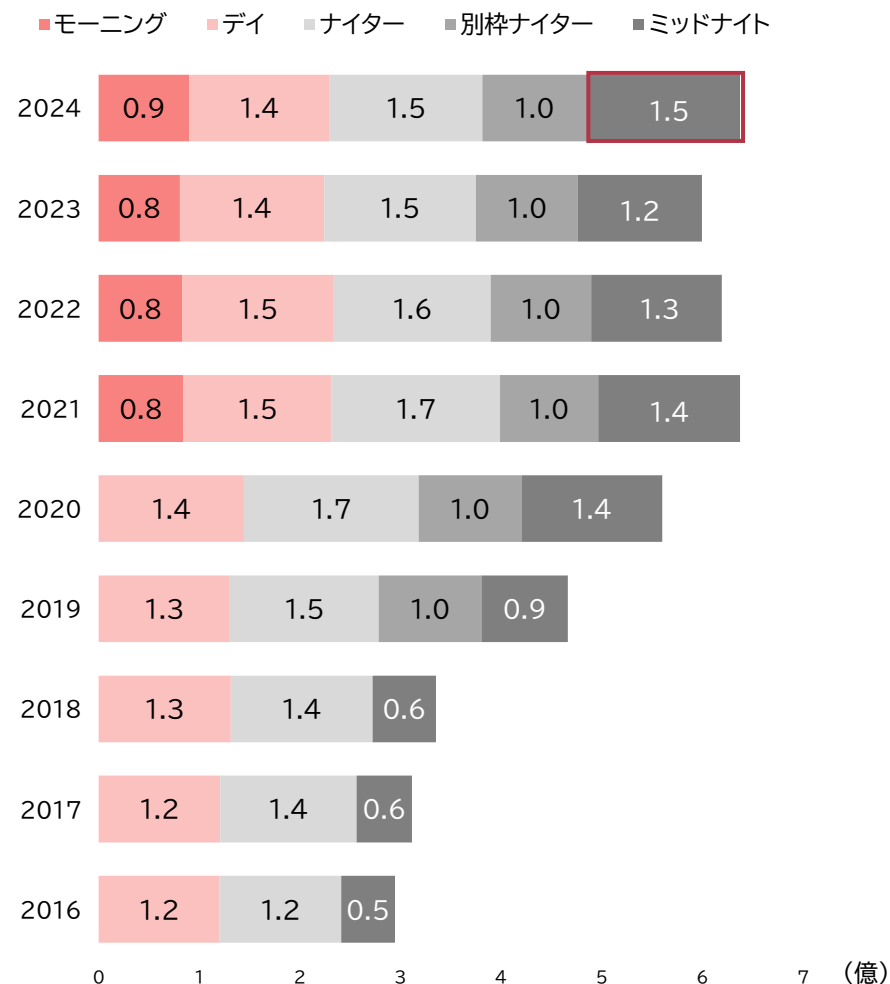
主にミッドナイト等別枠開催を中心として開催日数を増加した結果、2025年度の目標開催日数670日は、2023年度に前倒しで達成。開催種別ごとの1日平均売上は、2021年度以降は概ね横ばいで推移している。

➤ 開催日数(中止を含む合計日数)



※内訳は実開催日数(中止を含まない日数)

➤ 1日平均売上(グレード開催除く)



※上記グラフは積み上げではなく、開催種別ごとの1日平均売上を横に並べたグラフです。

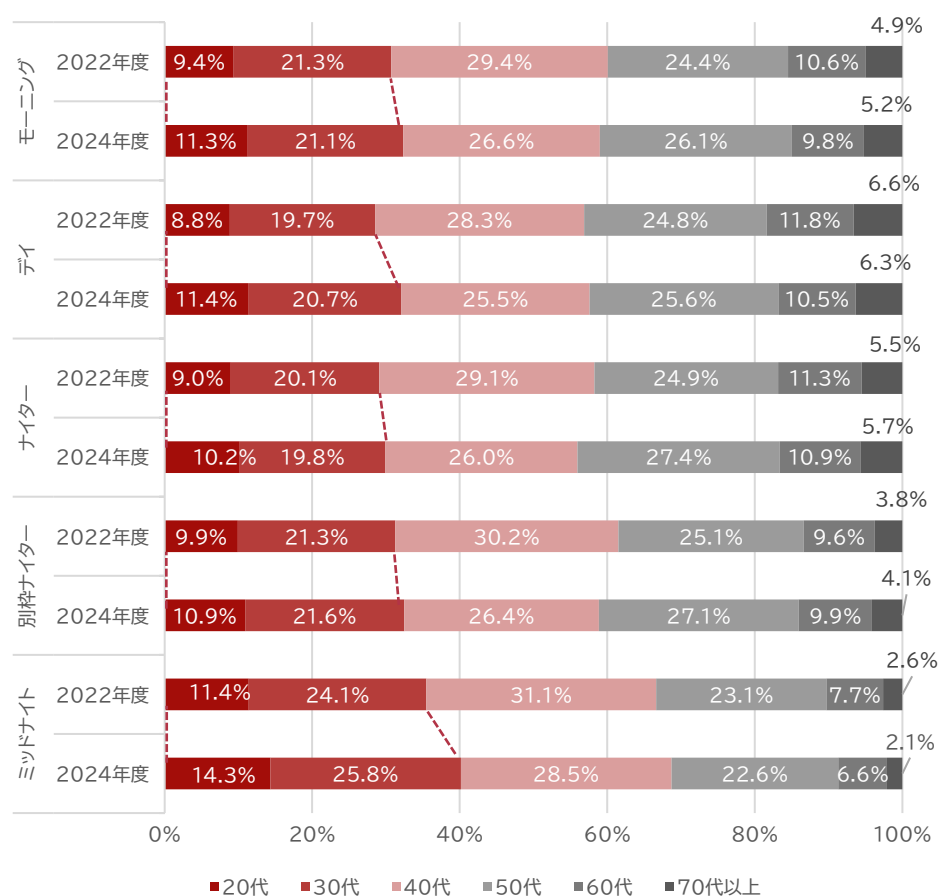
3.売上状況の推移(開催区分・グレード別の年代シェア)



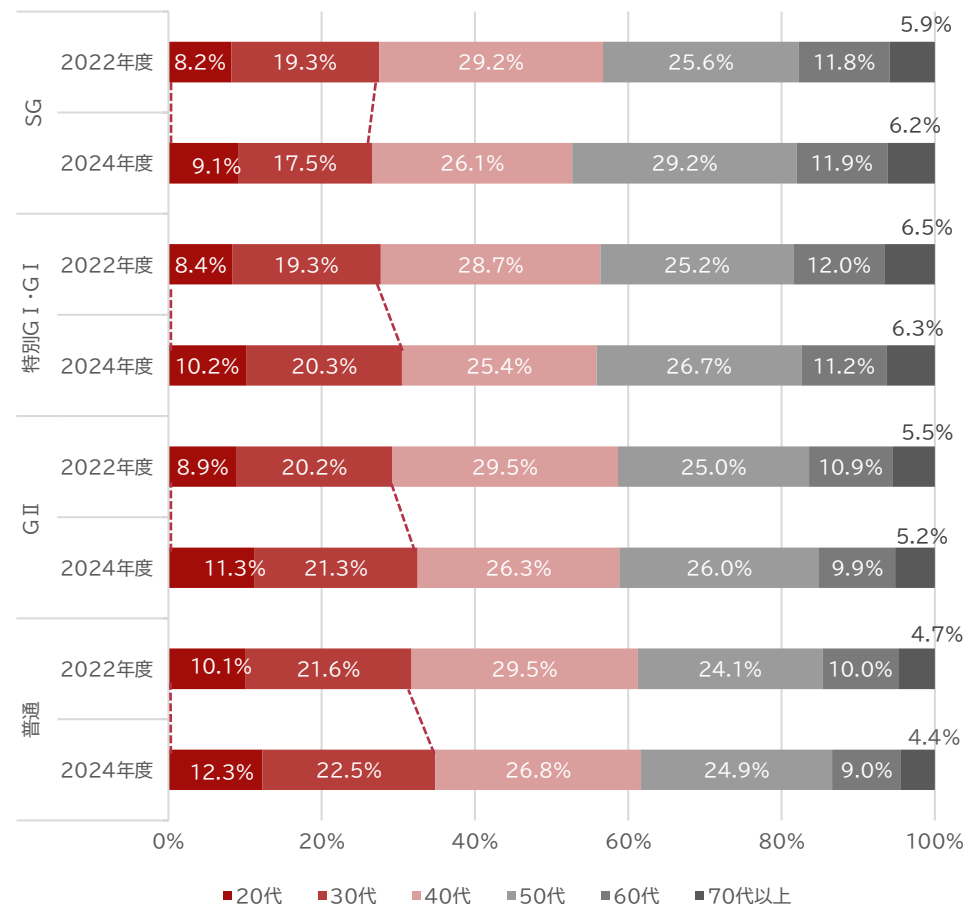
全開催区分で若年層(20～30代)の売上シェアが増加している。

特にミッドナイトでは、2024年度の若年層売上が約40%となっており、その他の開催よりも約10%若年層の投票比率が高い。グレード別では、SGを除く全ての開催区分で若年層の売上シェアが増加傾向にある。

➤ 開催区分別年代別売上シェア



➤ グレード別年代別売上シェア



※2024は4～8月までの実績
※2022年度より集計開始

4. 現行中期基本方針の振り返り(総括) ～開催関係～



開催関係

総括

「総開催日数の拡大」や「発売時間の拡大」は売上目標達成に寄与した。しかし、平日昼間の開催など収益性が低い開催に対するテコ入れが必要。また、「総開催日数」や「発売時間」の拡大に伴う労働環境改善は要検討。



主な実施施策

項目	内容	結果
総開催日数の拡大	開催日数の拡大	2022年度に目標日数670日を超えて672日開催を達成。2024年度は733日となる見込み
	SG6日制実施	SG4開催（オールスター、グランプリ、日本選手権、全日本選抜）を5日制から6日制に変更
発売時間の拡大	アーリーレースの実施	発走時間を午前9時台に早めたアーリーレースを浜松場で実施
	ナイター・ミッド同日開催実施	ナイターとミッドナイト開催の同日開催を開始し、発売時間と開催日数を拡大
	借り上げ施行開催	浜松市が山陽場を借り上げミッドナイト開催
	開催時間延長ミッドナイト開催（オーバーミッドナイト開催）	飯塚場及び山陽場で日付を超えて最終レースを発走する（オーバーミッドナイト）開催を開始
	ミッドナイト発売時間後ろ倒し（最終レース23:40頃）	競輪のミッドナイト開催最終レース（23時30分発走）よりも遅く、オートレースの最終レースを行う
	1日2開催	川口場で開催を集約する1日2開催（20R）を実施



課題

- ・ 施行者収支の改善
- ・ 売上と収支の最大化を目的とした効率的な日程編成
- ・ 運営体制の最適化

4.現行中期基本方針の振り返り(総括) ～競走関係～

競走関係

総括

「グレードレースの新設」「普通開催7車立て」「企画レース」及び「1日2回出走」等を計画通り実施した。選手養成では、「毎年養成」及び「教育費用分担金無償化」を実施するとともに、開催日数増加に即した「養成人数変更」を実施した。

主な実施施策

項目	内容	結果
グレードレースの新設	GⅡグレードレースの新設	GⅡミッドナイト(飯塚場・山陽場)、GⅡオートレースメモリアル、GⅡ曳馬野賞の3開催を新設
新たな競走の提供	普通開催7車立て開催	普通開催の一部で7車立て開催を実施
	企画レース	SSガールズ予選、ガールズ王座決定戦をはじめ、企画レースを実施
	1日2回出走	同一選手同一競走車による1日2回出走レースを浜松場、山陽場及び飯塚場の3場で実施
安定稼働に向けた選手数の確保	毎年養成	第36期(2022年度)から開始
	教育費用分担金無償化	第38期(2024年度)から実施
	安定稼働に向けた選手数の確保	開催日数増加に即した選手数増加策(選手数440名確保を目標)を講じた第38期(2024年度)、第39期(2025年度)の養成数を20名へ増加
ガソリンエンジン車以外の検討	環境負荷への配慮	ガソリンに代わる代替燃料の調査及び検証を実施



課題

- ・ 創意工夫を凝らした魅力的なレースや開催の提供
- ・ 次世代を担うスター選手候補生の確保と養成
- ・ 合成燃料について、試験販売等が開始された後、採用の可能性について検討

4. 現行中期基本方針の振り返り(総括) ～投票環境の整備～

投票環境の整備・拡大

総括

オートレース基幹システムを更改し、コスト削減と新たな投票機能を追加した。
新機能のAutoRace.JPキャッシュレスシステムは本場1場と専用場外場1場の合計2場に導入した。

主な実施施策

項目	内容	結果
システム開発・導入	基幹システム開発経費の削減 システム開発分割経費の見直し	調達方式の見直し等によりコストを削減
	クラウドTZS開発	クラウド型投票システムの新規開発により、 公営競技初のオーバーミッドナイト開催と1場1日2開催の実施が可能に
利便性向上、売上増加、新機能導入	新投票サイト・新HP導入	AutoRace.JP投票サイト及び同HPについて全面リニューアル
	新決済手段の導入	クレジットカード決済、コンビニ決済及び決済可能銀行の拡充
	AutoRace.JP重勝式車券の導入	AutoRace.JP重勝式車券の発売を開始
AutoRace.JP キャッシュレスシステムの導入	キャッシュレスシステム導入	新規キャッシュレス端末による発売を川口場、オートレース石鳥谷(岩手)で開始
	全国相互払い戻し	新規キャッシュレス端末設置場間で実施



課題

- AutoRace.JP投票の利便性向上と市場競争力の強化による利用者数と売上の拡大
- システムを安定かつ安全に運用できる運営体制の構築

4.現行中期基本方針の振り返り(総括) ～プロモーション～

プロモーションほか

総括

「専用場外の活性化」「車載カメラ」並びに「プロモーション」等を実施した。今後はオートレースの魅力を効果的に発信するためのプロモーション施策について検討が必要。また、車載カメラ等を用いた新たな情報の提供や各場活性化策について検討が必要。

主な実施施策

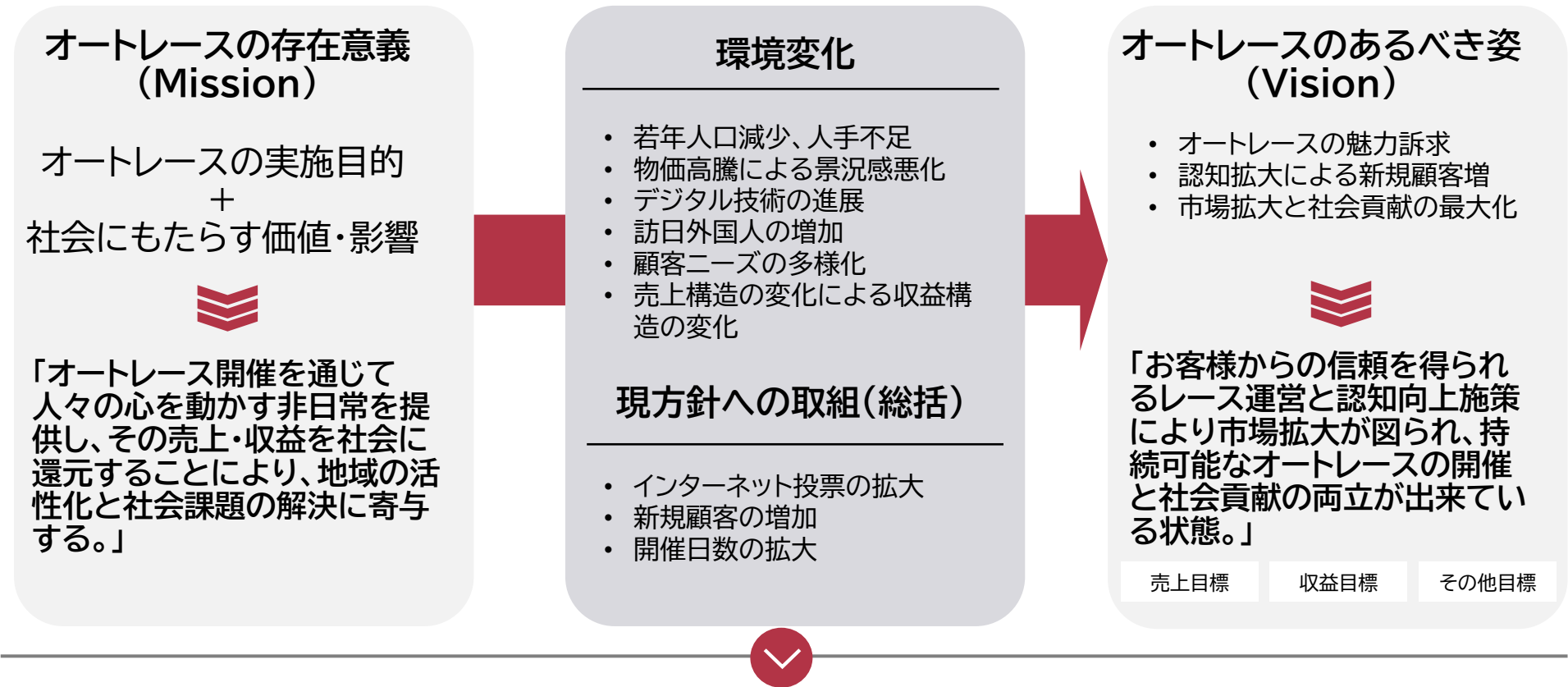
項目	内容	結果
専用場外の活性化	WEB解説会 専用場外顧客の送客	専用場外のお客様を対象としたWEB解説会や、本場招待を実施
車載カメラ	オンデマンド配信の実施	全場でオンデマンド配信を実施。2024年度はSG及び特別G I 優勝戦を配信
	新技術を活用した新たな データ提供に関する調査研究	撮影映像を基に車速や走行軌跡等の情報提供に関する調査及び検証を実施
民間事業者との 連携	民間事業者が保有する 情報の共有	民間事業者が保有する売上等のデータを定期的に収集し、業界へ定期的に情報共有を実施
	新設専用場外開設	花園寄居(埼玉)、館林(群馬)及び石鳥谷(岩手)の3場が開設し、全36場となった
プロモーション	デジタルマーケティングに基づ いたネットプロモーション	公式YouTubeチャンネルを中心としたSNSでの戦略とAutoRace.JP投票サイトのリニューアル、 重勝式車券等の新商品の発売を契機としたPRを実施
	マーケティングシステムの活用	AutoRace.JP投票会員を対象としたターゲティングメールの送付やHPにおける販促活動を実施
	公式ファンクラブ	公式ファンクラブ向けの動画及び記事の配信を実施
	YouTube等の更なる活用	新人や女子選手等をフックとした動画を作成・公開



- 効果測定に基づいたターゲットへの適切なアプローチ
- 業界全体で統一感のあるプロモーションの実施
- 車載カメラ映像等の活用やオートレースの魅力発信方法の検討

5.オートレースの存在意義(Mission)、あるべき姿(Vision)

👉 次期中期基本方針における課題の大分類を「4つの柱」として定義する。



あるべき姿の実現に向けた「4つの柱」(Value)

地方財政への貢献と
社会還元の浸透

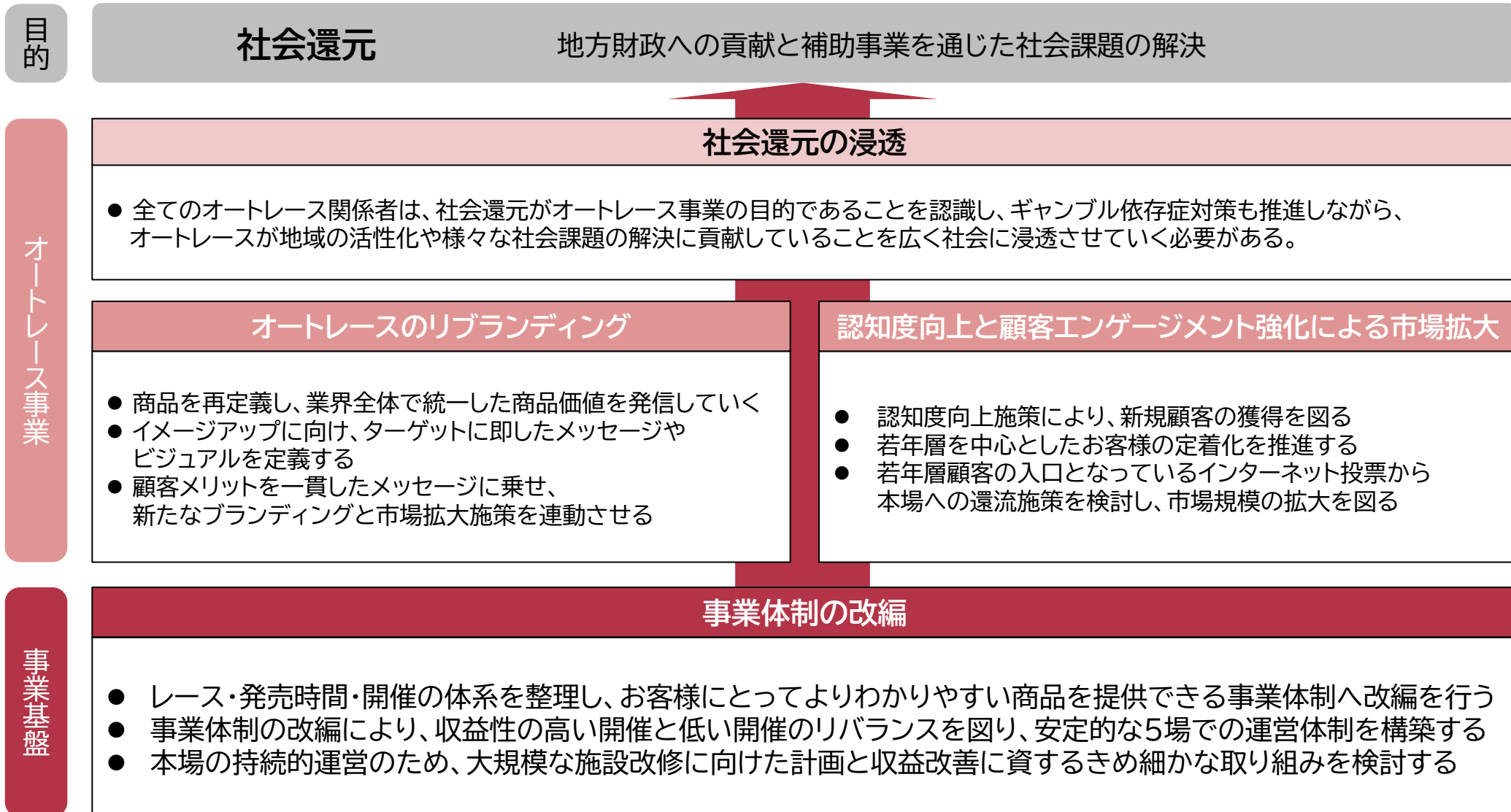
事業体制の改編

オートレースの
リブランディング

認知度向上と
顧客エンゲージメント
強化による市場拡大

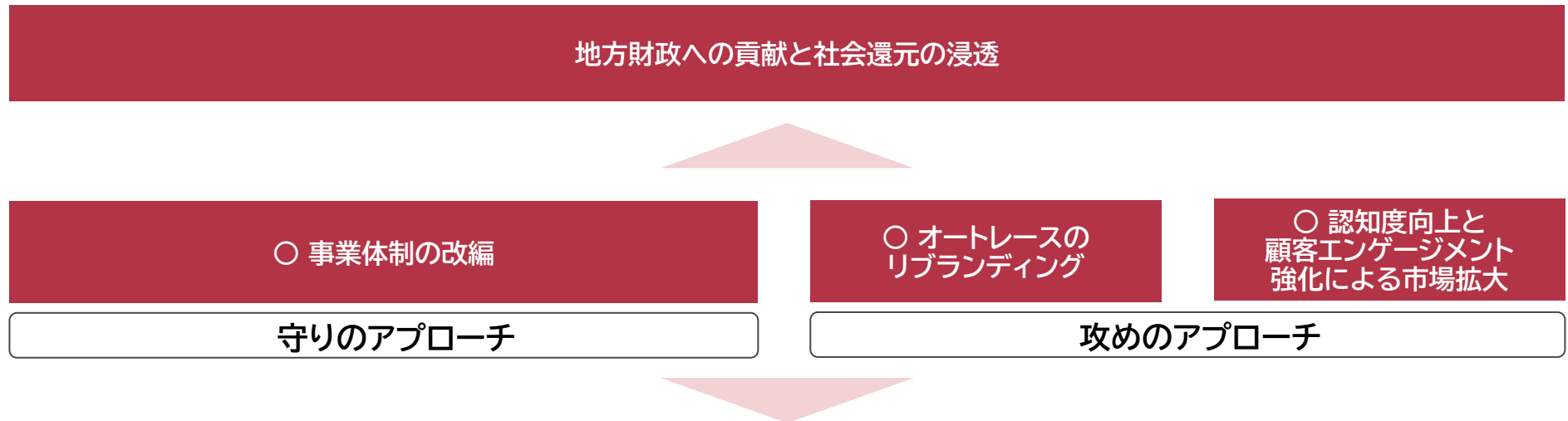
6.オートレースのあるべき姿の実現に向けた4つの柱(Value)

オートレースのあるべき姿実現に向けた「4つの柱」とオートレースの目的(社会還元)を構造化して整理した次期中期基本方針では、事業基盤の強化と、顧客エンゲージメントの強化による市場拡大の両立へ取り組む。



7.4つの柱実現(Vision)に向けた攻めと守りの要素

- ☞ 事業実施の目的となる「地方財政への貢献と社会還元の浸透」を実現するため、4つの柱実現に向けたVisionとしてを「攻め」と「守り」のアプローチに分類した。



○ 事業体制の改編

- お客様への価値提供に向けた検討
 - 土日祝を中心とした普通開催の日程編成
 - 競合開催の回避と併売時間の削減
 - 開催日程・レース数・車立ての再整理
- 賞金と競走制度の適正化に向けた検討
 - 普通開催と別枠開催等の賞金体系見直し
 - 別枠開催のあっせん日数算入
 - 別枠開催の競走成績算入

○ リブランディング

- 商品の再定義による統一的商品価値の発信
- ターゲットに即したメッセージとビジュアル
- ブランディングと市場拡大施策の連動

○ 市場拡大

- 認知度向上施策による新規顧客の獲得
- 新規顧客の定着化に向けた取組の推進
- ネット投票から本場送客施策の推進

8. 今後のスケジュール

全体スケジュール		2024年度				2025年度								
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産 構 審	産構審事前レク①					★								
	第1回産構審						★							
	産構審事前レク②												★	
	第2回産構審													★
事 務 局	取り組み方針の検討	➡												
	骨子の検討		➡											
	産構審委員事前レク				➡									
	具体的取組の深掘り						➡							
	産構審委員事前レク											➡		